



なすびの花

緊張感

毎週行っている会議の中で、社長より

「最近緊張感が薄れているようなので、品質面に影響することのないように！」

との注意がありました。

工場の移転から半年以上が過ぎて、確かに気のゆるみが出てきている頃かも知れません。

社長の注意を受けて、各部署ともに、それぞれの持ち場の問題点なども整理して、作業の導線を更に加え、ミスを誘発しないように、そして生産性を考え、仕組みの見直しをしています。

毎日の作業において、緊張し過ぎるとストレスになります。適度な緊張感は大事です。

一般的には、緊張感のない職場の特徴は次のようなものがあります。

- ◆ メリハリがない
- ◆ おしゃべりが多い
- ◆ 同じミスを繰り返す
- ◆ ダラダラしている
- ◆ 生産性が低い

こういった原因の一つに、『馴れ合い』があります。

真面目に仕事しなくても注意されない、計画通りの時間内に作業が終わらなくても注意されない、などといった事が日常的になつてしまつと、

「ちゃんとしなくては！」という気持ちになつて、緊張感が薄れてしまいます。

何か違和感を覚えても、「まあいいか…」と報告もしなくなり、結果としてミスが起こり、仕事全体の品質が保てなくなります。

京都中小企業優良企業表彰

イーエル・オカモトが京都府中小企業優良企業として表彰を受けました。

ものづくり部門において、「経営資源を活かし、優位性、新規性を備えたものづくりに取り組み、良好な管理により成果を上げている」として

「業績が安定し、経営成績が良好である」

「社会的規範を遵守していること」などの功績が認められ、受賞にいたしました。

11月22日に執り行われた表彰式には社長が出席されています。

大変嬉しいです！



さて、社内はどんな空気でしょうか？
皆さんは、適度な緊張感を維持されているでしょうか？

日々の同じ作業の中で、緊張感を維持し続けるのは少し難しいように思えます。

緊張感を維持するための行動としては、上の特徴の逆で、

- ◆ 時間を意識する
- ◆ メリハリをつける
- ◆ 目の前の作業に集中する
- ◆ 自分のルールを作る

といったところでしょうか。

もし緊張感が薄れてきたら、と感じたら、自分の中で時間を区切ってみたり、作業している周辺を整理してみることで、適度な緊張感をコントロールできるかも知れません。

上手に緊張感をコントロールして、作業に集中することが、自信にもつながりますね。

絶妙な緊張感を保ち、質の良い仕事をして、品質を維持していきましょう。

第100号にやせて

古代中国に、

『百里を行く者は九十を半ばとす』

ということわざがあります。

『百里の距離を歩き通そうと思ったならば、九十里を来たところで、やっと半分であると考え、習慣を持つべきである。』

ということわざです。

目標のほとんどを達成したとしても、最後の段階で気を緩めてはならないという教訓を含んでいます。

さて、新工場に移転してから、慣れてきた今、そして、年末が近づき、生活面でも慌ただしくなっている今月でもあります。

上の記事でも触れていますが、メリハリをつけて、最後まで気を緩めず、目の前の作業に集中して、穏やかな新年を迎えましょう。

今回、誌面を作成しようとして、今月号が第100号であることに、気づきました。

もう100回発行したのか…と感慨深いような気持ちで、何か『百』に絡めたお話を書こうと、この内容にしました。

私も、定年まであと数年、『やっと半分』と考えて、気を緩めることなく、若い世代につないでいきたいと、改めて考えています。

年末年始休暇

今年の年末年始の休暇は、

12月28日～1月5日までです。

年明けも元気に出勤しましょう！

